

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511342 (P2005-511342A)
【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
【年通号数】公開・登録公報 2005-017
【出願番号】特願 2003-532295 (P2003-532295)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 26 日 (2005.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プリントヘッドに結合され、抵抗値を表す複数のビットを記憶するメモリデバイスと、前記メモリデバイスに記憶された前記複数のビットのうちの 1 以上を変更することにより抵抗値を調節することが可能な感熱抵抗素子とからなるプリントヘッド。

【請求項 2】

前記メモリデバイスにおいて前記複数のビットのうちの少なくとも 1 つがヒュージブルビットであり、該ヒュージブルビットを溶断することにより、前記感熱抵抗素子の抵抗値を調節することができる、請求項 1 に記載のプリントヘッド。

【請求項 3】

前記感熱抵抗素子は、前記メモリデバイスの製造後に調節可能である、請求項 1 に記載のプリントヘッド。

【請求項 4】

複数のヒュージブルビットがコンポーネント特異情報の少なくとも一部をさらに表す、請求項 2 に記載のプリントヘッド。

【請求項 5】

複数のヒュージブルビットがベン特異情報をさらに表す、請求項 2 に記載のプリントヘッド。

【請求項 6】

第 1 の抵抗値を有する感熱抵抗素子と、

前記第 1 の抵抗値を変更するために前記感熱抵抗素子に結合された抵抗値変更手段と、前記第 1 の抵抗値を表す複数のヒュージブルビットを格納するメモリとからなる交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 7】

前記複数のヒュージブルビットは、抵抗を溶断し前記第 1 の抵抗値を変更することにより設定される、請求項 6 に記載の交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 8】

前記抵抗変更手段は、前記感熱抵抗素子の一部を短絡させるための導体である、請求項 6 に記載の交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 9】

前記感熱抵抗素子は、複数の遷移領域を有する蛇行形状部を有する、請求項 6 に記載の交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 10】

前記抵抗値変更手段は、前記感熱抵抗素子の一部を短絡させるために前記複数の遷移領域のうちの少なくとも 1 つの近くに配置された導体である、請求項 9 に記載の交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 11】

前記複数のヒュージブルビットがコンポーネント特異情報の少なくとも一部をさらに表す、請求項 6 に記載の交換式プリンタコンポーネント。

【請求項 12】

前記複数のヒュージブルビットがペン特異情報をさらに表す、請求項 6 に記載の交換式プリンタコンポーネント。